

神戸から発信、 復興過程と風化防止の教訓をネパールへ

～ネパール復興庁長官らが神戸を訪問～

11/8（金）にネパール復興庁から、スシル・ギャワリ長官らが神戸を訪問されます。長官は、神戸市内の六甲道駅周辺の再開発地区や人と防災未来センターを視察し、来年1月に25周年を迎える阪神・淡路大震災からの復興の知見・教訓を学ぶと同時に、次の世代に震災の経験を伝え防災研究や教育を推進するためのノウハウを日本からネパールに持ち帰ろうというものです。

2015年4月25日にネパール中西部で発生したマグニチュード7.8の大地震は、ネパール国内に甚大な被害をもたらしました。死者約9千人、負傷者約2万2千人という人的被害に加え、全半壊含めて個人住宅への被害は77万戸にも及びました。国際協力機構（JICA）は大地震後、震災復興支援プログラムを実施してきました¹。ネパール復興庁はこの震災復興の全般的な調整機能を担っています。

関西センター（JICA 関西）はこの機会を捉え、常日頃より防災分野の研修でご支援頂いている機関・専門家の皆様の協力を仰ぎ、視察受け入れの調整をし、日本の災害、防災の経験を海外へ発信して参ります。

2019/11/8（金）＜取材可能時間帯＞		
時刻	概要	場所
13:15- 14:45	人と防災未来センター視察	人と防災未来センター （兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5-2）
15:30- 16:30	JR六甲道駅周辺視察	灘区役所周辺 （兵庫県神戸市灘区桜口町4丁目2-1） ※灘区役所より開始し、六甲駅南側再開発地区、 駅北側の地区等を徒歩で視察予定。

※取材を予定される場合、11/6（水）を目途に以下の問い合わせ先にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西センター 業務第一課/国際防災研修センター 永田禎章
 TEL 078-261-0386 e-mail : Nagata.Yoshiaki.2@jica.go.jp

¹ネパール地震復興への取り組みは以下のウェブページを参照（2019/10/30確認）
<https://www.jica.go.jp/nepal/office/others/recovery/index.html>